

# 地域子ども教室推進事業

## 1. 創設の経緯及び趣旨

子どもたちに関わる重大事件の続発など、青少年の問題行動の深刻化や地域や家庭の教育力の低下等の緊急的課題に対応し、未来の日本を創る心豊かでたくましい子どもを社会全体で育むため、平成16年度から「地域子ども教室推進事業」を開始。

具体的には、地域の大人の協力を得て、学校等を活用し、緊急かつ計画的に子どもたちの活動拠点（居場所）を確保し、放課後や週末等における様々な体験活動や地域住民との交流活動等を支援するものである。

## 2. 内容

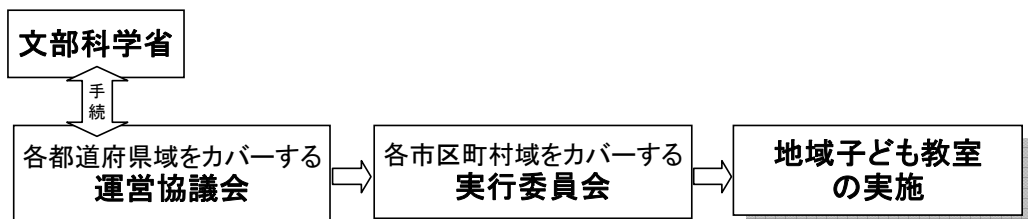
### (1)「地域子ども教室推進事業」の根拠

委託事業としての予算措置

### (2)「地域子ども教室推進事業」の実施主体

運営協議会（実行委員会）形式による実施

### (3)「地域子ども教室推進事業」の運営の仕組み



※各都道府県域の中には、政令指定都市を含む。

### (4)「地域子ども教室推進事業」の費用負担の割合

国（10／10）

### (5)「地域子ども教室推進事業」に係る予算の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
予算額	7,000百万円	8,762百万円	6,644百万円

### (6)「地域子ども教室推進事業」の実施箇所数の推移（全国）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度（7月末現在）
実施箇所数	5,321カ所	7,954カ所	8,318カ所

### (7)「地域子ども教室推進事業」の利用児童数の推移（全国）

	平成16年度	平成17年度	平成18年度
利用児童数	9,649,644人	24,868,712人	21,171,466人

# 地域子ども教室推進事業

平成16年度～18年度 緊急3カ年計画

H18予算額 6,644百万円

- 学校の余裕教室や校庭等を活用し、子どもたちの安全で安心な活動拠点（居場所）づくりを支援
- 放課後や週末において、子どもたちがスポーツや文化活動等の様々な活動を実施

## “地域の大人たち”が協力

〔活動例〕

- ◎お手玉やめんこなどの「昔遊び」
- ◎図工、折り紙、読み聞かせなどの「文化活動」
- ◎野球やサッカーなどの「スポーツ」
- ◎パソコンなどの操作等を教え合う など



	H16年度	H17年度	H18年度(7月末現在)
実施箇所数	5,321ヶ所	7,954ヶ所	8,318ヶ所
参加した子どもたち(延べ数)	約 965万人	約2,490万人	約2,110万人
参加した地域の大人たち(延べ数)	約 171万人	約 382万人	約 383万人

地域における子ども活動拠点づくりの定着促進(新規) <H18予算額:73百万円(6,644百万円の内数)>

### 対象者

「地域子ども教室」の実施にあたって、中核的な役割を担っている者

- ・コーディネーター
- ・安全管理員
- ・ボランティアなど

### 具体的な方法

各都道府県で次のような研修会を実施

- 各課題(安全、人材確保、活動プログラム、連携方策など)に関する研究協議会
- ポスターやパネルによる相互の活動報告及び情報交換会

関係者相互の情報交換とネットワークづくりを促進することにより、**地域独自の取組として定着し、継続した実施を促進**